

大阪文化芸術フェスが今年も開催



9月29日から11月4日にかけて、万博記念公園など府内全域で『大阪文化芸術フェス2018』が開催される。

同フェスは大阪府、大阪市、関西経済連合会や大阪商工会議所などで構成する「大阪文化芸術フェス実行委員会」が中心となって、万博記念公園や府内のホール、劇場などで、大阪が誇る上方芸能・上方演芸などをはじめ、音楽や演劇、アートなど、国内外のコンテンツをフェス期間内に集めて実施するもの。

大阪の文化芸術を楽しむ機会を創出するとともに国際エンターテインメント都市の実現を目指し、大阪の都市格の向上

を図って2025年国際博覧会の大阪開催につなげていきたいねらいだ。

昨年に続いて2度目の開催となる本年度は、大阪で結成され、30周年を迎えるウルフルズのコンサートをキックオフイベントとして行うことを決定した。

キックオフイベントはウルフルズ

5月21日、同実行委員会の記者発表会が行われ、ウルフルズと松井一郎大阪府知事が登壇した。

昨年に引き続き同フェスを開催するこ

と、また9月29日に万博記念公園もみじ川芝生広場で同フェスのキックオフイベント、「ウルフルズがやって来る!ヤッサ2018 ガッチューOSAKA」が行われることを発表。松井知事は「今年はウルフルズがいっしょに大阪のパワー、ガッツを見せよう」と参加してくれる、感謝している」と話した。

ウルフルズは、1988年に大阪で結成されるなど、大阪に深い縁がある。トータスは「サンコンは茨木、ジョンBは吹田出身



記者発表会の様子

で、僕は兵庫県の出身なんですけど、18歳の時に大阪へ出てきてみんなと出会った。大阪に育てられたので恩返しをしたいと思っていた。そういったときにこのお話があったので、本当にありがたいと感謝しています」と述べた。

大阪文化芸術フェスの内容は公式ホームページ(<https://osaka-ca-fes.jp>)で確認できる。

【開催期間】2018年9月29日(土)~11月4日(日)
【会場】万博記念公園・大阪府内会場
【実施主体】大阪文化芸術フェス実行委員会(構成団体)
大阪府/大阪市/公益社団法人 関西経済連合会
大阪商工会議所/一般社団法人 関西経済同友会
公益財団法人 大阪観光局/
公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
【問い合わせ】大阪文化芸術フェス実行委員会事務局
(大阪府 府民文化部 文化・スポーツ室 文化課内)
06-6941-0351(大阪府庁 代表)

70回目の猪名川花火大会開催予定 ふるさと納税で資金調達(記事は8/15作成)

今年も猪名川花火大会が8月18日に開催する予定。池田市・川西市が共同運営する同花火大会は今年で70回目を迎え、毎年10万人以上が訪れる地域の一大イベント。ここ数年は警備費などの増加に伴い、開催資金の捻出が大きな課題だった。そこで池田市は資金調達の手段として、今年6月1日から7月20日まで、「猪名川花火大会応援プロジェクト」と題したクラウドファンディング型ふるさと納税を実施。その結果、当初の目標額だった100万円を超える111万7,000円の資金調達に成功した。集まった寄付は、約4,000万円の開催費用の一部に活用される。1万円出資した人は、100席限定の特別席で花

火大会を鑑賞できる特典を付与。また、出資金の一部はふるさと納税として税金の控除の対象になる。

来年度以降も同様のクラウドファンディングを開催する予定。池田市の担当者は、「2市をまたぐ伝統的な行事を長く継続するために、来年度もご協力をお願いしたい」と話す。



箕面市 シビックプライド 総合6位に

箕面市が、「シビックプライドランキング2018(関東・関西)」のトップ10にランクインした。同ランキングは、2008年より株式会社読売広告社が行っている「シビックプライド調査」に基づいて発表されているもので、「愛着」「誇り」「共感」「継続居住意向」「他者推奨意向」の5つの指標によって評価づけされる。シビックプライドとは、その都市に対する住民の誇りや愛着のこと。自治体運営の施策を考えるヒントになりうると考えられている。箕面市は、「愛着」7位、「誇り」6位、「共感」1位、「継続居住意向」11位、「他者推奨意向」6位で、総合6位にランクイン。総合ランキング1位は港区(東京都)で、2位は文京区(東京都)、

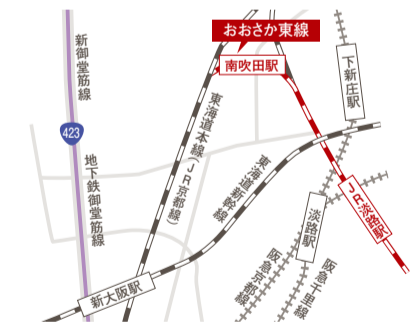


3位は中央区(東京都)と続く。関西圏内で総合トップ10に入ったのは箕面市と神戸市(総合8位)のみ。今回の調査は、関東・関西圏の人口10万人以上の151自治体に暮らす20代~50代の住民、約8,500人を対象として、2018年3月に行われた。

吹田市に新駅誕生「南吹田駅」

来年春に全線開業を予定しているJR「おおさか東線」の北区間(新大阪駅~放出駅、11.1km)に新設する4つの駅名が決まった。北側から「南吹田」「JR淡路」「城北公園通」「JR野江」。同線は、大阪東部地域の鉄道ネットワークの充実を目的として整備が進められているもので、2008年に南区間(放出駅~久宝寺駅)が先行して開業。昨年度の利用者数は1日当たり5

万人で、全線開通によって約10万人の利用を見込んでいる。



箕面市 熱中症対策 28度以上でエアコンを

全日本で熱中症による救急搬送が増え、箕面市では、小中学校での熱中症予防の対応方針を刷新し、7月19日から実施している。室温が28度以上、または湿度や気温などをとにした指標、暑さ指数(WBGT)が28度以上となった場合に空調を稼働。WBGTが28度以上では、部活動を含む

同市の小中学校では、児童生徒が使用する普通教室と特別教室、体育館にエアコンが完備されている。



屋外活動を中止する。以前は、WBGTが28~31度で激しい運動を避けるなど、運動に対してのみ制限を設けていたが、今後は運動以外の課外活動も全て中止する。ただし、クラブ活動の公式試合等については、熱中症対策を十分に行うとすうえで、参加の判断を各学校が行う。

二輪車による交通事故を防ごう

協力:大阪府警察



大阪府下の交通死亡事故のうち、二輪車事故は2018年7月末時点(速報値)で依然として約4割を占めており、最も多くなっている。

二輪車乗車中の交通事故のうち、交差点及び交差点付近での交通事故が最も多く、全体の約6割にも及んでいる現状だ。二輪車は、自動車と違って車体に守られていないため、交通事故に遭った場合、重大事故につながる危険性が高い。運転する際は下記の点に注意しよう。

- 速度を控え、しっかりと交差点の安全確認を
- 交差点を通過する際は、対向右折車両に十分注意を
- 万が一の事故に備え、ヘルメットだけでなく、胸部プロテクター等の着用を

2018年4月1日から「2018 OSAKA 二輪車セーフティチャレンジ」を実施(エントリー期間4/1~9/28、実施期間4/28~10/31)。二輪車利用者が無事故・無違反にチャレンジし、交通安全意識を高め、交通事故を防止することを目的としている。参加は無料。各警察署交通課で受付を行うとセーフティチャレンジシールを進呈。

9/21~30 「秋の全国交通安全運動」実施

【全国重点】

- 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

【大阪重点】

二輪車の交通事故防止

「交通事故に遭わない、起こさない」を合言葉に、安全運転を。